

(様式第2号)

事業所名 グループホーム和

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 平成 28年 8月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6.7	虐待・拘束と一言で言っても、どの状態までが虐待になるのか、拘束になるのか、よく理解出来ていない。	理解できるよう、研修、ミーティング等に参加する。	ミーティング時は職員全員参加できる為、研修等で学んだ事を共有する。	6ヶ月
2	33	終末期、看取り時に関わった際に動揺がみられる。	看取り時の対応(特に夜間帯)の再確認。	看取り状態を想定し、その時の対応の仕方、職員同士の連絡の取合い、緊急連絡先等、再確認する。	6ヶ月
3	47	利用者が使用している薬に対し、用法、用量を全員が理解していない。	個々の使用薬の用法、用量を職員全員で理解する。	ミーティング時、利用者2人ずつでも、使用薬の用法、用量を理解していく。使用薬の変更があった場合はその都度、情報を共有していく。	4ヶ月